

## 平成28年度 特別養護老人ホームふるさと（短期入所）事業計画

### 【基本方針】

ご本人・ご家族が安心して利用できるサービスの提供を行う

### 【年間目標】

- ①また来たいショートステイを提供する
- ②サービスの質の向上を図る
- ③ご家族との太いパイプ作り
- ④地域のケアマネジャーとの太いパイプ作り
- ⑤長期入所者と合わせて99.5%以上の稼働率を目指す

### 【実践計画】

- ①また来たいショートステイを提供する
  - ・ 孤立感・孤独感を感じない様に、ご入居者と交流できるような配慮をおこなう
  - ・ 個々の利用者の自宅での様子や生活歴をご家族やケアマネジャーから聞き取り、安心して過ごせる環境作りをする
  - ・ 心地良い挨拶・言葉使いを心がけ、気持ちよく利用して頂く
  - ・ レクリエーションへの参加や余暇活動ができるよう工夫する
  - ・ 満足できる食事の提供、または制限食にはできるだけ対応する
  - ・ また会いたいと思ってもらえる接し方をする
  
- ②サービスの質の向上を図る
  - ・ 担当ケアマネジャーが作成したケアプランを把握し、適切なサービスを提供する
  - ・ 個々のニーズに応じたケアの実践、介護用品の提供により、安全で快適な環境作りに努め、未然に事故を防ぐ対策をおこなう
  - ・ 入退居時の荷物チェックを徹底し、紛失及び忘れ物の防止に努める
  - ・ ご家族やケアマネジャーに、利用時のご様子をきめ細やかに報告し、安心して利用して頂く
  - ・ 苦情発生時は誠意を持って対応し、速やかに処理をおこなう
  - ・ 問題発生時は早急に話し合いの場を持ち、改善対策を検討し、再発防止に努める
  
- ③ご家族との太いパイプ作り
  - ・ ご利用者のご家族の関係性を理解し、適切な対応をする
  - ・ 報告・連絡・相談を円滑に行う事で、信頼ある関係作りに努める
  - ・ 利用中に行事があれば、ご利用者・ご家族も一緒に参加してもらう
  - ・ ご家族との交流ができる送迎時に、会話を多く持ち最新の情報を収集し職員間で情報共有する

④地域のケアマネジャーとの太いパイプ作り

- ・ご利用者に関する連絡を密に行い、情報を共有する
- ・問い合わせには迅速に対応し、できるだけニーズに答え、信頼関係を作る
- ・積極的に担当者会議に参加し、ショートステイ利用時のご様子を各関係者に伝え、チームで支援することを意識する。会議に参加できない場合は照会にて情報提供をおこなう
- ・気軽にご利用者の様子を見に来て頂ける様に、法人内の職員が統一した対応ができるようにする
- ・安心して利用できる施設と思って頂ける様にする

⑤長期入所者と合わせて99.5%以上の稼働率を目指す

- ・空床が出ないようベッドコントロールを行う
- ・新規受入れを積極的に行い、定期的な利用につなげていく
- ・長期入所者のベッド（入院者ベッド）を有効活用する
- ・老人施設連盟の空床情報の随時更新と共に、サービスを提供する区内（須磨区・垂水区）の居宅介護支援事業所に対し施設独自の空床情報を提供する
- ・定期的に居宅支援事業所やあんしんすこやかセンターを訪問し、情報交換を行い、ケアマネジャーと顔の見える関係作りに努める
- ・あんしんすこやかセンターが開催する地域ケア会議に参加し、他事業所と交流しネットワークを構築する